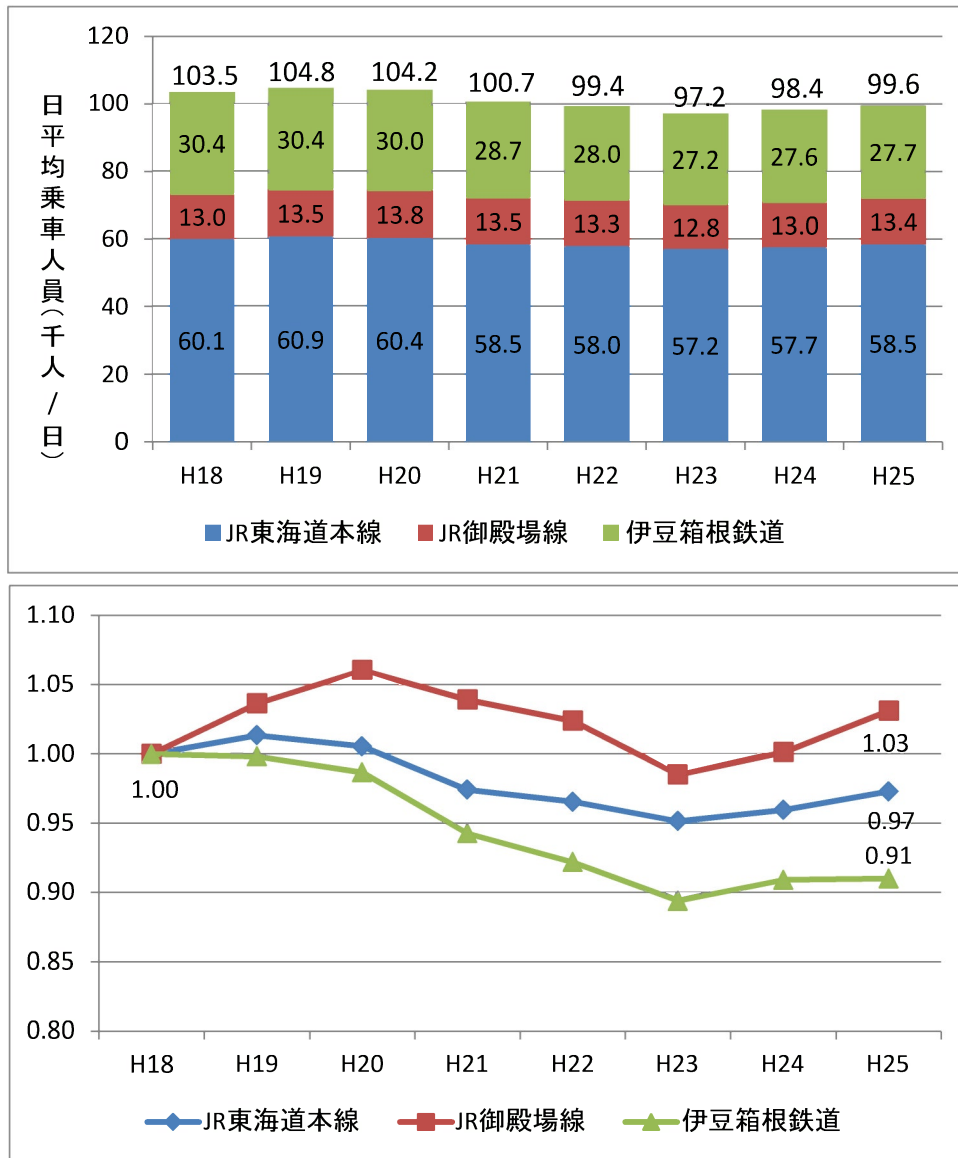


(6) 公共交通

① 鉄道

東駿河湾都市圏の鉄道乗車人員は、平成 19 年以降減少傾向がみられたものの、平成 23 年を境に増加に転じている。各路線とも、平成 23 年以降は乗車人員が増加傾向にあり、中でも JR 御殿場線は平成 18 年比 1.03 となっている。



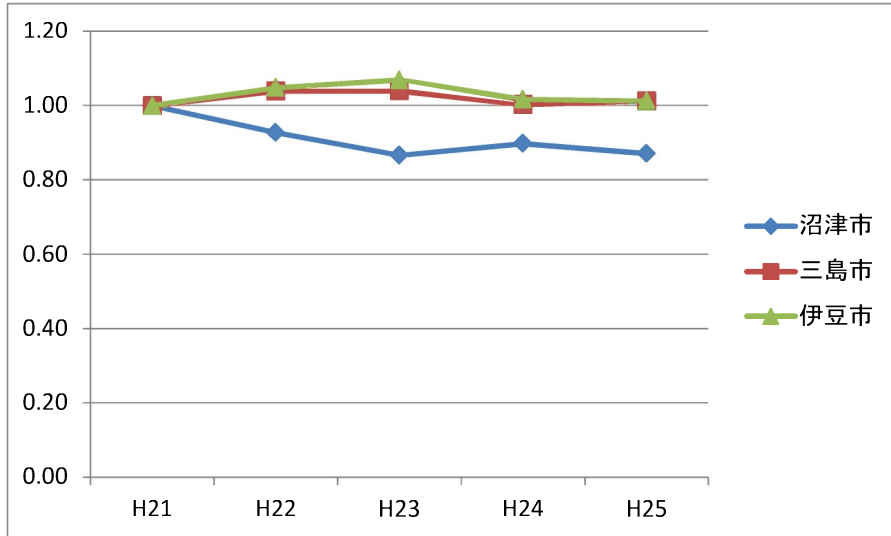
(出典) 静岡県統計年鑑

※ JR 東海道本線：函南～原（三島駅は新幹線利用者含む）、JR 御殿場線：駿河小山～大岡、伊豆箱根鉄道：三島～修善寺

図 東駿河湾都市圏における鉄道乗車人員

②バス

沼津市、三島市、伊豆市のバス乗車人員をみると、沼津市は減少傾向がみられるが、三島市、伊豆市は平成 21 年比で微増している。



(出典) 沼津市：沼津市統計書（平成 26 年版）より、3 社（富士急シティバス(株)、東海自動車(株)、伊豆箱根バス(株)）の 1 日平均乗車人員の総数の推移をグラフ化

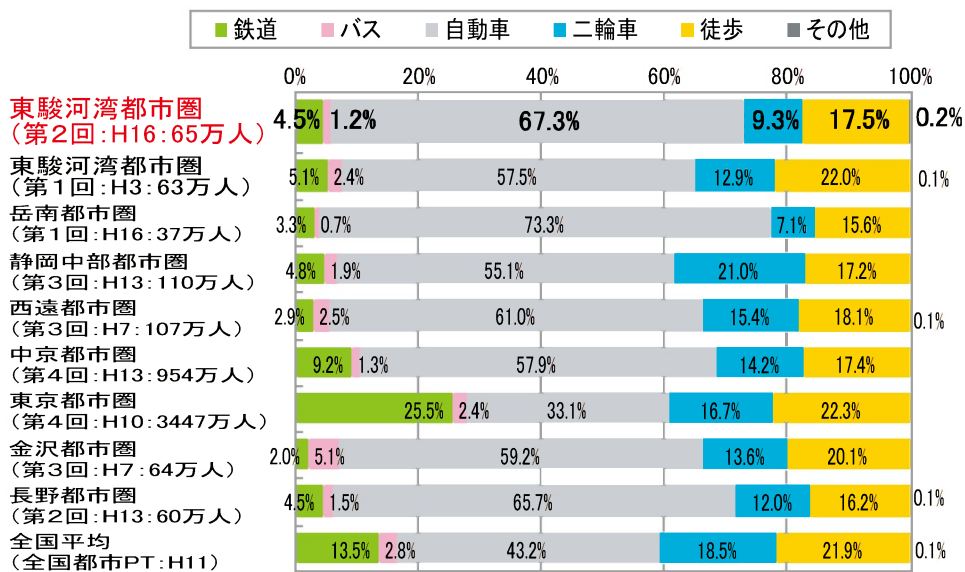
三島市：三島の統計 2015 より、せせらぎ号、なかざと号、きたうえ号、ふれあい号の年間利用者数の合計の推移をグラフ化

伊豆市：伊豆市地域公共交通会議（H26. 11. 17）資料より、自主運行バス 17 路線の年間利用者総数の推移をグラフ化

図 東駿河湾都市圏における鉄道乗車人員

③前回調査における代表交通手段別トリップ構成比

東駿河湾都市圏における鉄道、バスの分担率はあわせて約 6%と全国平均を大きくした回る一方で、自動車分担率は 67.3%と全国的にも高い値となっている。



(出典) 第 1 回及び第 2 回パーソントリップ調査、都市計画ハンドブック

図 東駿河湾都市圏における鉄道乗車人員